



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第27号(R4. 10. 5)

新人戦に向けての各部活動・クラブチームの代表者による決意表明 Part4

進路テストを頑張った9年生。新人戦にかかる7・8年生。文化祭の合唱コンクールに向けて金賞目指してクラスの団結力を高めている全校生徒。まさに河東中は実りの秋を迎えています。

【 バレーボール部 岩佐 結翔さん 】

こんにちは、バレーボール部キャプテンになりました岩佐結翔です。バレーボール部の新人戦の目標は、返事や声出しを徹底し、最後まで諦めずにボールを繋げることです。そのために、日々の練習で指示や返事、あいさつなどの声出しを徹底して行き、一本一本を大切にプレーしていきたいです。また、新チームになって初めての試合ですが、練習の成果を発揮し、それぞれが自分の最善を尽くして楽しんで試合ができるように、試合までの残り少ない練習を頑張ります。応援よろしくお願いします。

【 サッカー部 花田 隆介さん 】

サッカー部の花田隆介です。僕たちサッカー部の目標は、10月22・23日に行われる中体連新人大会の宗像区大会で優勝して筑前地区大会に出場することです。去年はあと一步のところまで筑前大会に出場できなかったのが、今年こそは出場できるよう頑張ります。そのためにも、試合だけでなく練習の時から声をかけ合い、限られた練習時間を大切にしていきます。新チームとなってまだ少ししか経っていませんが、これまで練習してきたことを最大限発揮したいです。応援よろしくお願いします。

【 FCグローバル 高橋 怜央さん 】

こんにちは、FCグローバルの高橋怜央です。僕たちのチームでは、監督・コーチ・選手たちで日々練習に励んでいます。今月からは、新人戦や9年生の最後の大会であるクラブ選手権などがあります。そこでいい結果を残せるように頑張りたいです。そのために一日一日の練習を大切に、練習などでしっかりあいさつや声出しなども徹底して先輩たちのサポートができるようになります。新人戦やクラブ選手権などで自分たちがしっかり結果を残せるようにチーム全体で頑張りますので、応援よろしくお願いします。

【 FA L-PRIDE 甲斐 月翔さん 】

こんにちは、FA L-PRIDEの甲斐月翔です。僕達は監督やコーチの指導のもと、日々練習に励んでいます。今月は新人戦や9年生との最後の大会クラブ選手権があります。そこで良い結果が残せるように頑張りたいです。そのために日々の練習を大切に、練習内で声を出して、後輩を引っ張り先輩をサポートできるようにしたいです。そして、去年より少しでも良い結果が残せるように頑張るので、応援よろしくお願いします。

努力している君たちへ ～ 先人が残した数々の努力論 ～

受験に向けての合格への努力、新人戦に向けての勝つための努力、文化祭へ向けての合唱や作品作りへの努力…。生徒のみなさんは、日々様々なことで努力を積み重ねています。なぜ努力するのか、努力にはどんな方法や心構え、または効果があるのでしょうか。今回、そんな努力論についてまとめてみました。

まずは、努力論で最も有名な3つを見ましょう。

「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である。」(エジソン)

「小さなことを重ねること(努力)がとんでもないところに行くただひとつの道です」(イチロー)

「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は皆努力している」(ベートーベン)

この3つの言葉に見るように、偉大なる成功者は成功へのカギは努力にあることを共通して語っています。スポーツや芸術、事業に限らずこの世の成功の影には並々ならぬ努力の積み重ねがあります。

こんな厳しい努力論もあります。かつてプロ野球のホームラン世界記録を打ち立てた王貞治選手(現ソフトバンク・ホークス会長)の言葉です。

「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない」

人の何倍・何十倍とバットを振り続け、ホームラン王という結果も出した人ならではの言葉です。

プロスケーターに転向した羽生結弦選手はかつて次のようなコメントを発表しました。

「努力はウソをつく。でもムダにはならない。努力がウソをつかないだったらやっぱり練習量を一番している人が毎回、毎回、優勝できるでしょう。オリンピックでも……。どんなに努力している人でも勝てないときは勝てないんだなと思った。選手が勢いで取っちゃうってことも。そういう意味で努力っていうものはウソをつく。努力の正解を見つけることが大切。」

「努力はウソをつかない」というのが今まで聞き慣れてきたフレーズでした。しかし、羽生選手は実体験から実はそうではないんだ

という現実を突きつけ、その上で努力の大切さを説得力のある言葉と行動で示しました。

詠み人しらずの次のような言葉もあります。

「努力して結果が出ると自信になる。努力せず結果が出るとおごりになる。努力せずに結果も出ないと後悔が残る。努力して結果が出ないとしても経験が残る。」

最後に、私が最も好きな努力論を紹介します。

「人間は努力するかぎり迷うものだ」(ゲーテ)

これは、ドイツの作家ゲーテの『ファウスト』という物語に出てくる言葉です。勉強を頑張っている、スポーツに力を入れていても、この方法でいいのか、これでいいのかとあれこれ迷い不安になるものです。ゲーテは、努力しているからこそ迷うものだ、努力している証拠だと言います。

中学校生活で“努力する習慣を身に付ける”ことはとても大切なことです。勉強・スポーツ・芸術…様々な分野で努力できる河東中生になってほしいと思っています。努力する習慣は今を輝かせるだけでなく、将来どんな職業に就いても花咲くことになるでしょう。

